

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	松本市			代表者名	臥雲 義尚
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進本部	連絡先電話番号	0263-48-7000
担当者役職	情報政策幹(CEO補佐官)	担当者氏名	高橋 浩道	連絡先E-mail	
住所	390-8620 長野県松本市丸の内3番7号				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	DXを担う職員の人材育成
概要	「市民にデジタルの恩恵が届く市役所」を実現するため、常に業務改善を目指すマインドセットを職員に定着させる。		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 行政手続オンライン化		

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	133K	令和6年9月3日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月20日	事前打合せ(オンライン)	10時00分	12時00分	
			活動時間(分)	120	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村越 功司
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体業務及びデジタル庁での業務の経験から、本市で課題となっているいくつかの点に関して助言をいただけたことは大変参考となった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	8人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	8		

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市は、令和3年に「DX骨太の方針」を定め、各種デジタル施策を推進してきた。現在、業務システム標準化に取り組んでいるが、併せて新庁舎建設に伴う庁舎の分散配置が計画されており「市民に身近な市役所づくり」を進めるため、業務の見直し、改善が待たなしの状況です。 しかしながら、職員の業務改善に対する志向は弱く、課題解消検討に入れていない。「課題を課題として認識する力」「デジタルを活用する意識」を身に付けることが必要となる。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	1 職員が担当する業務の改善を進める思考を持つ。 2 職員がデジタル化を進めていくために取得すべき技術・知識は何かを理解し、その技術・知識取得のために取り組むことができるようになる。 3 1・2の成果から、職員が業務改善によるデジタル化のヒントを見出すことができ、施策として取り組む
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	上記の課題、目指す成果を説明し、どのような方法により達成していくか支援を受けた。その中で、若い職員のアイデアの芽を摘む原因となっているほとんどのケースが管理職の理解不足にある。 ⇒第2回の講演会においてどれだけ多くの管理職(係長クラスを含めて)に参加してもらえるかがカギ。 ・アドバイザー事業の中でだけ達成していくには難しい。長いスパンで取り組みが必要。 ⇒第2回の意見交換会后、市の中で若手職員を中心とした継続的な意見交換を行い、マインド変革

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	離職・退職にともなう人出不足が顕在化しており、若手職員のモチベーションが課題となっているが、職員の働き方を改善する目的でのデジタル化も欠かせないといった本市での考え方は、全国的に発生していることであることが分かった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 Web開催のため写真なし。当日支援を受けるために作成・修正した資料を添付します。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	10月16日に第2回目の支援として ・午前中は管理職等を中心とした講演会の開催 ・午後は若手職員中心とした意見交換会を開催予定	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 実施していない	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定 業務改善の各論として、業務可視化ツールの活用、フロントヤード・バックヤード改革や窓口BPR等いろいろな手法があるので、本市の状況に最適な手法を検証し、職員が積極的に取り組める環境を醸成しながら取り組んでいきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	新たに建設される3つの庁舎で、業務改善された「市民に身近な市役所づくり」が実現される。令和8年度からスタートする標準化システムは、毎年仕様改版が予想され、これに合った業務見直し、改善が業務担当課で継続的に行われる。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/</a>
<b>なお&lt;その他&gt;を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</b>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		